

しんあい

季刊

2018年(平成30年) 1月20日発行 第104号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！



ごちそうが並んだお楽しみ会（きずな）

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 新・介護保険を考える19

◆ スウェーデン視察研修報告

◆ 施設だより
「新年を迎えて」



新・介護保険 を考える 19

－特別養護老人ホームの 介護報酬と利用者負担の変化－

理事長 鈴木 恂子



2000年4月1日から施行された介護保険制度は走りながら考えるといわれ、3年ごとに保険者となる各自治体で介護保険事業計画が策定され、65歳以上の一号被保険者が負担する保険料が決まります。事業者を支払われる介護報酬も3年ごとに社会保障審議会介護保険給付分科会で実質審議され、報酬が変化してきました（しんあい59号、82号でもとりあげました）。

第3期（2006年）に居住費、食費の基準費用が利用者負担となり、前年（2005年）10月に前倒して変更しました。2017年は第6期の最終年度となり、各自治体は第7期の計画検討をすすめています。介護報酬の1割は利用者負担ですが、第6期から一定所得以上の負担が二割に、さらに第7期からは三割負担の制度導入が検討されています。

（介護度5・多床室・1人1日あたり）

	第1期（2000年4月～2003年3月）	第2期（2003年4月～2005年9月）	第3期特例措置(2005年10月～2006年3月)	第3期（2006年4月～2009年3月）	第4期（2009年4月～2012年3月）	第5期（2012年4月～2015年3月）	第6期（2015年4月～2018年3月）	
居住費	0円	0円	多床室：320円	従来型個室：1,150円	ユニット型個室：1,970円	(保険料段階ごとに負担限度額を定め差額を補足給付する)		第1期は老人福祉施設の措置費を基本に直接処遇職員を4:1→3:1とし、生活費から2万円（日常生活費）をひき、事務費・事業費の区分なく介護報酬として移行しました。 第3期は制度の持続を目的に「介護の保険」に転換しました。そのため居住費、食費は利用者の自己負担となり、2005年10月から基本報酬は2000年比3.4%減、食事にかかわる医療対応分のみ加算となりました。 第3期の本格実施となる2006年4月には医療職が関与する加算が増え13項目となりました。基本報酬はさらに減額、2000年当初の5.5%減となりました。第3期に居住費と食費の利用者負担増、基本報酬の大幅な減額は施設財政を直撃しました。職員の非常勤化が進み、賃金も低迷しました。 第4期(2009年4月～)には、加算は更に7項目増え、20項目となりました。介護職員の低賃金が問題となり、処遇改善に特化した介護職員処遇改善交付金が導入され、第5期からは加算となりました。 第5期は一気に6.9%減、第6期には12%減（金額にして34,400円減）となり、各種加算を算定することで回復する仕組みとなりました。 加算制度は医療職の関与が要件となり、個別の対応になること、利用者・ご家族の同意と負担増を伴い、現場業務が大きく変化します。 特別養護老人ホームは生活の場であることを大切にしたいと願っています。
食費	利用者負担：780円 保険給付：1,340円	利用者負担：780円 保険給付：1,340円	利用者負担：1,380円 (調理コスト含む)	利用者負担：1,380円 (調理コスト含む)	利用者負担：1,380円 (調理コスト含む)	利用者負担：1,380円 (調理コスト含む)	利用者負担：1,380円 (調理コスト含む)	
基本報酬(介護度5・多床室)	974単位/日 (月額：296,300円)	-15単位(月額：4,600円減) 959単位/日 (月額：291,700円)	-33単位(月額：10,000円減) 941単位/日 (月額：286,200円)	-53単位(月額：16,100円減) 921単位/日 (月額：280,100円)	-41単位(月額：12,500円減) 933単位/日 (月額：283,800円)	-67単位(月額：20,400円減) 907単位/日 (月額：275,900円)	-113単位(月額：34,400円減) 861単位/日 (月額：261,900円)	
加算 （ 【 】 内 単 位 数）	常勤医師配置加算【20】		→【25】					
	精神科医療養指導加算【5】							
	機能訓練体制加算【12】		個別機能訓練加算【12】					
	初期加算【30】							
	退所時等相談援助加算（退所前後訪問相談援助加算【460】・退所時相談援助加算【400】・退所前連携加算【500】）		→退所前【460】退所後【460】退所時【400】連携【500】					
			栄養体制加算（管理栄養士【12】 栄養士【10】）					
			栄養マネジメント加算【12】 →【14】					
			経口移行加算【28】					
			療養食加算【23】					
			準ユニットケア加算【5】 →【18】					
			個別機能訓練加算【12】					
			経口維持加算 I【28】 II【5】 →I【400/月】II【100/月】					
			看取り介護加算 I【160】 II【8→1【80】 2【680】 3【1,280】 →I【144】II【680】III【1,280】					
			在宅・入所相互利用加算【30】 →【40】					
			在宅復帰支援機能加算【10】					
		障害者生活支援体制加算【26】						
		身体拘束禁止未実施減算【-5】						
		重度化対応加算【10】						
		夜勤職員配置加算 I【22】又は【13】 II【27】又は【18】						
		看護体制加算 I【6】又は【4】 II【13】又は【8】						
		日常生活継続支援加算【22】 →【23】 →【36】又は【46】						
		サービス提供体制加算 I【12】II【6】III【6】						
		認知症専門ケア加算 I【3】II【4】						
		若年性認知症受入加算【120】						
		口腔機能維持管理加算【30/月】						
		口腔機能維持管理体制加算【30/月】						
		口腔機能維持管理加算【110/月】						
		認知症行動・心理症状緊急対応加算【200】						
		介護職員処遇改善加算 I 2.5% →5.90% →8.3%(2017年4月～)						

※月額＝単位×10円×365日÷12ヶ月（10円桁にて四捨五入）

（編集：法人事務局 青木 志乃）

スウェーデン研修13年の総括

事務局事務長 上野 廣美

多摩同胞会とスウェーデン・ヨーテボリ市にある福祉施設「三つの財団」が、職員の交換研修を開始したのは、平成16年5月でした。まずは法人から2名の職員を派遣しました。一般に海外研修という見学がメインとなりますが、この研修では認知症高齢者のケアを現場実習で学ぶのが特長でした。男性職員は夜勤業務に入ったこともありま

した。この研修を実行するにあたり、平成16年2月に私はスウェーデンに派遣され、職員の宿泊施設や実習施設の周辺の環境などの安全性や利便性などを確認しました。あれから13年、今回の私たち研修団を含め40名が渡欧し、うち24名の職員が現場実習を行い、そして三つの財団からは、10名の職員を受け入れました。実のところ現場実習を経験した法人職員のうち13名が退職をしています。離職理由は様々ですが、スウェーデンで目のあたりにした福祉施設職員の働き方や生き方に、自分の人生を見つめ直し退職を決心した者も少なくはなかったのではと今回の研修で実感しました。それほど、スウェーデンで働く人たちは生き生きとまた、自信に満ちているように思えたからです。

職員の人生活えさせる、人生の優先を変える研修というのがある意味すごい研修なのだと思います。

これまでの研修の形はいったん一区切りとして、また新たなプログラムで海外研修を実施する時期を迎えるにあたり今回の視察研修で得たことを活かしていきたいと考えています。

スウェーデン研修がこれまで事故ひとつなく円滑に運営できたのは、ひとえにヨーテボリ在住の友子・ハンソンさん（研修コーディネイト・通訳）のお蔭です。ここに改めて深く感謝申し上げます。



ご利用者のお部屋って信じられますか？



三つの財団 エンゴードバック



地域に開放されているエンゴードバックの食堂

今回の研修で、自分の目で見て感じたことをできるだけ多くの職員へ伝えて、日々の業務に取り入れていきたいと思えます。



家具や暖炉でゆっくり過ごせる環境づくり



思い出の写真でその人らしさを演出



テーブル上の小物も一つ一つが印象的

空間と時間の活用

あさひ苑高齢者在宅サービスセンター長 比留間 貴

苦手な空の上で10時間以上過ごしかつ3時間遅れでヨーテボリ空港に到着しました。空港に着いたときはあまり実感がありませんでしたが、翌朝三つの財団の施設「エンゴードバック」へ向かう街並みを歩きながら、スウェーデンにきたことを実感しました。数年前に法人のスウェーデン研修報告会に参加した際になんとなく聞いていた内容でしたが、この研修に実際に参加したことで自分自身の課題の解決につながるヒントをもらいました。それは以下の2点です。

【居室環境の整備】

スウェーデンでは、高齢者一人一人の生活歴を専門職がしっかりと把握し、教育を受けた職員が実行計画をもとに、その方らしい「生活環境」を整え支援していました。

古い文化（家具や絵画、写真等）と新しい文化（福祉用具やIPADなどの通信機器）をミックスして、高齢者の生活環境を整え、その方らしい暮らしを自然な形で作り出していました。

【日課・活動プログラム】

昔からの慣習、文化や季節感を大切にしたい生活の時間を作っていました。高齢者が安らぐことができる活動を（自然の緑の中で過ごす）「海を連想する」「ケーキを焼く」「ゲームをする」「ダンス、音楽や運動」「礼拝をする」などの様々なプログラムを用意して一人一人の意志、希望に沿って日課を組立っていました。そこには必ず、高齢者の「やりたいこと」がプログラムされていました。



平成29年度 スウェーデン視察研修報告



多摩同胞会の海外研修は、故中城イマ理事長と故浅川春巳医師のご寄付を研修基金として積み立て、これを財源として実施しています。

スウェーデンでの海外研修は、主に現場実習により認知症ケア、アクティビティ、福祉機器の活用などを学んでいますが、5年ごとに責任者レベルの視察型の研修も実施しています。平成29年度は視察研修をスウェーデン・ヨーテボリおよびストックホルムで下記のプログラムで実施しましたのでご報告いたします。

また、11月19日（金）緑苑地域交流スペースで研修報告会を開催しました。研修メンバーは、それぞれの業務の中で課題となっていることの解決方法を今回の研修を通して見つけています。その実践の過程については、季刊しんあいの誌上にて改めて報告することにいたします。

平成29年度 スウェーデン視察研修日程

月	日	曜日	スケジュール
1	10月15日	日	成田発 コペンハーゲン経由ヨーテボリ着
2	10月16日	月	三つの財団高齢者住宅エンゴードバック(169床)視察 Aハウス、中庭見学
3	10月17日	火	ヨーテボリ市内公設高齢者住宅Aker Hus(102床)視察
4	10月18日	水	・西ヨーテボリ区「文化センター」内にある親族センター事務所 ・担当市職員ジェーカーさんの説明 ・ニーズ査定員ニッセラさんの説明 ・家族の会事務局ビッピさんの説明
5	10月19日	木	ストックホルムへ空路で移動 ・フリータイム（ストックホルム観光）
6	10月20日	金	ストックホルム ハーニング市 ・民間経営高齢者住宅（株）オムソリー社 「ハン・ベーデン」視察
7	10月21日	土	ストックホルム発 コペンハーゲン経由
8	10月22日	日	成田着・解散

研修メンバー

	施設名	職名	氏名
1	団長 事務局	事務長	上野 廣美
2	副団長 あさひ苑	高齢者在宅サービスセンター長	比留間 貴
3	かんだ連雀	特養次長兼高齢者在宅サービスセンター長	峯 俊美
4	泉 苑	機能訓練指導員・統括係	寺澤 恭彦
5	岩 本	ケアハウス相談員・係長	藤井 貴子
6	緑 苑	特養相談員・係長	丸山 徹
コーディネーター（通訳） 友子・ハンソンさん			



親族センター職員 ジェーカーさん



ニーズ査定員ニッセラさん



エンゴードバックの中庭にてピアさんと



家族の会 ビッピさん



民間経営・高齢者住宅 ハン・ベーデン



公設住宅 Aker hus

職員の業務改善につなぐ

かんだ連雀特養ホーム次長兼
高齢者在宅サービスセンター長 峯 俊美

今後の日本は高齢者人口が増加することが予測され、ますます我々高齢者福祉の担い手にかかる役割は大きなものになるのだと感じています。そのことから、私は視察研修参加にあたり入所施設で勤務する職員の業務や工夫と高齢者が在宅生活を継続するためにやっている工夫を学びたいと考えておりました。

以前からお話を伺っていた通り、建物や高齢者施設の生活空間は素晴らしい、福祉用具も積極的に活用されています。また、働く職員も皆誇りを持って様々な工夫をされています。

ただ同時に私には、やっぱり日本はすごい！と感じたこともありました。日本には、『思いやり』があると感じました。高齢者個々のために思いやる優しさは負けていません。しかし、思いやりすぎることで本人が出来ることまで手伝わってしまった、業務を増やしていることも現状ではないでしょうか。そう感じた私はあえて業務内容を伺いました。今後自分の施設の現状と見合わせながら、業務整理や活動の工夫に繋がるヒントを頂けたと思っています。

もう一つテーマにしていた高齢者が在宅生活を継続するためにやっている工夫についても多くのことを学ぶことが出来ました。介護だけではなく生活に視点が置かれている様々な仕組みが構築されていると感じました。思い入れのある地域で生活が続けられる事は皆が願う想いだと思っています。その事を念頭に、今後字んだことを実践していきたいと思っています。



各部屋に利用者個々の援助手順書や計画書が置いてありました



親族センターの入っているプール、図書館やホールがある大きな文化センター入り口



入居者が持ち歩くナースコール

リハビリ専門職の視点から

泉苑機能訓練統括係長（作業療法士） 寺澤 恭彦
私がイメージしていたスウェーデンは、過去の研修報告や北欧の福祉に関する文献で得た情報でしか理解しておらず、『福祉の先進国』『高齢者が生活しやすい国』『介護技術の優れた国』といったことでした。

今回、視察研修に参加させて頂き、改めてイメージ通りであったと感じた面とイメージとは違うと感じられた面の両方を知る事が出来たのは私にとって大きな収穫でした。

私はリハビリの専門職としての立場で、スウェーデンの高齢者施設におけるリハビリの様子や福祉機器の活用の様子を中心に視察しました。スウェーデンの高齢者施設では作業療法士や理学療法士は、身体状況や生活動作の評価、そして介護職員への介助方法の指導が主な役割で、リハビリは介護を担う職員の方が行っています。評価や介護職員へのアドバイスはもちろんですが、直接ご利用者のリハビリも行うのが当たり前だと思っていた我々との違いに驚きました。

また福祉機器の活用についても、機器そのものは日本でも使われている物と差ほど変わりはないのですが、日本に比べると他の日用品や家具と並べてあっても違和感なく、生活に溶け込んで利用されていました。それは『施設』においても『家』の雰囲気や大切にしているスウェーデンの方の考え方も繋がっているように思えました。

今回の研修で得られた貴重な体験から、改めて自分達の役割を見つめ直し、リハビリの専門職として、単に身体機能や生活動作の維持・改善だけに留まらず、生活環境にも目を向け、快適に日常生活を送って頂く為の取り組みを行うのはもちろんの事、生きがいや楽しみ、励みに繋がるような働きかけが出来るように努めていきたいと思っています。



訓練を行うトレーニングルーム



ベッド周りの福祉用具（手すり等）



「施設」を感じさせないお部屋

ひとりひとりの意思を尊重する スウェーデンの取り組み

ケアハウスいわもと係長 藤井 貴子

今回、視察研修では在宅生活から入所施設への移行のタイミングや流れについて学ぶことを課題としました。スウェーデンでは、どの場面でも個人の意思を尊重するという事がとても重要な事として、そして当たり前な事として捉えられています。多くの人が高齢になった時に社会のお世話になりたくないというお気持ちを持っているという事でした。

国の取り組みとしても施設入所は最後の選択であり、可能な限り在宅生活を継続され、いよいよ高齢者住宅等へ移行した後は、亡くなるまでが2〜3カ月という例が多いようです。冒頭に記載した、在宅生活から入所施設系施設への移行のタイミング等については三つの財団の『引越しのプロセス』が参考になりました。家庭訪問をしてじっくりと本人の意思を確認し、ケアの実行計画を作成するというものです。担当職員も同行し、入所施設の内見をすることで不安がなくなるという事でした。このような話し合いを『歓迎のお話し合い』と呼んでおり、とても良い言葉だなと感じました。

「ここでも」のようにしたいのか」という個人の意思を尊重しながら、必要なケアを行えるような工夫がなされています。説明を下されたスタッフの方々は皆「自分たちは先端的な援助をしている」「本人が何を求めているかを第一に考え、ご本人が重要と思う事をあげる援助をする」と、明確な方針を持ち、職員教育・リスクマネジメント・看取り・アクティビティなど自信をもってお話をして下さいました。

日本でも、職員一人一人が法人の理念について共通認識を持ち、個人の意思を尊重するという事については同じで、改めてとても重要な事だと感じた研修でした。今後、さらに良い援助が行えるよう活用できる事は工夫し、活かしていきたいと思っています。



ハン・バーデンの中庭は、くつろげる空間



面接に使うカード。いろいろな質問事項が書いてある



本物の砂で、リラックスします

自信をもってケアする

緑苑ホーム係長 丸山 徹

スウェーデン視察研修から戻って、まず介護職員に声をかけた言葉は「みんな良くがんばっている。技術ばかりでなく、きめ細かい配慮もスウェーデン以上で負けていない。自信を持って欲しい。」でした。社会保障、政策、文化も違い、制度や福祉サービスの方法も異なりますが、実際に働くスタッフ、ニーズ査定員の方から話しをうかがい、概ねケアの方向性に変わりなく、また日頃のケアでの課題も同様に思われました。

しかしながら、スウェーデンの個人ひとりひとりの生活、過ごし方の考え方、発想と実行力には目をみはるものがありました。お部屋作りは個人に合わせた家具や装飾、配置、趣味の絵や写真、音楽、各部屋とも似通っておらず、必要な場所に最小限のケア用品や用具が見える程度でした。活動や過ごし方などのアクティビティについても、個人の希望やアンケートから、日本ではちゅうちよとしてしまような事を多種にわたり実行され、お庭づくりも散歩を楽しむよう工夫されていました。その方に必要な支援の視点が身体能力以上に、生活に重きがあるように感じられました。

スウェーデンでの体験は、私たちのケアが自信を持って望める事、これから福祉を引っ張っていく若いスタッフの新しい発想と思考も合わせ、共にこれからの福祉に望みたいと感じさせるものとなりました。



お土産をご利用者へ



アクティビティで使用の2人乗り自転車



個々の生活空間のあるお部屋

施設 だより



新年を迎えて

新年あけましておめでとございませう。平成30年新年号として法人が運営している全ての事業所から施設だよりをお届けします。今年も皆様と一緒に賑わってワンダフルな良い1年になりますように。

緑苑

年の瀬は大忙し

養護老人ホームでは、師走も後半になりますと、ご利用者がそれぞれで新年を迎える準備を開始します。手拭いを頭に巻き、マスクをして埃をからめ取るワイパーなどを使用して大掃除が始まります。「うわー、我が家ながら凄い埃だわ」「毎年思っけど普段から、ちゃんと掃除してれば年末に苦労しなくて済むのにね」とにぎやか声がとびかいます。



職員はというと、ご利用者が届かない高いところや、ベランダの窓および網戸をお手伝いします。ご利用者から職員に「悪いけどこのタンスの上を拭いてくれない」「自分で窓もやっただけ、高いところをよろしくね」など声がかかります。職員からは「私たちよりも、よっぽどご利用者の方が元気よね」と話しが出るくらい、ご利用者の方のパワーを見せつけられると、職員も疲れたなんて言っていないかもしれません。

毎年皆さんと助け合い、右往左往しながら大掃除も済み除夜の鐘を聞き、1年を振り返って無事に新年を迎えることが出来ます。今年も来年も。ご利用者の皆様と元氣よく駆け回りながら過ごしていきたいと思えます。

養護老人ホーム主任(介護福祉士) 平岡 貴弘

しらとり

成年だワン!

「わんわん、かわいいでしょ?」と見せてくれたのは、大きな顔のわんちゃん(犬)の年賀状です。今回のしらとりひろばのオープンルームおたのしみふゆくでは、年賀状作りを行いました。しらとりのオープンルームでは、毎月第二火曜日はその月の誕生日会、第四火曜日は「お楽しみ」で制作やダンス、外遊び等々を行っています。2017年最後の「お楽しみ」は子どもたちにも大人気の制作になりました。



しらとりひろばのオープンルームには0歳から6歳までのお子さんとその保護者の方が遊びにきてくれます。今回参加してくれた小さなお友達も、お母さんに手伝ってもらいながら、小さな手を一生懸命使って犬のお顔を作ってくれました。ちよつと福笑い風なのもお正月らしく、また子どもらしく可愛いものです。作りながら「誰にあげようか?」「じいじとばあば!」「〇ちゃん(お友達)にあげるの〜!」と楽しい相談も聞かれます。最後は、自分たちも犬になりきって(?)ポーズ!ナンパーワンの笑顔を見せてくれました。今年も、皆さんにとってどんな1年になるでしょうか? 2018年もワン!ダフルな一年になりますように!

ひろば担当(社会福祉士) 吉田智咲

泉苑

おせち料理

毎年お正月を迎えるとき、食事係では年末からおせちの準備に取り掛かります。献立づくりから始まり、食材の発注、器の用意、そしておせち作りまで息をぬけない真剣勝負です。この時期は毎日の食事作りに加え、新年の準備に向けて厨房内は活気づきます。



黒豆は、邪気払いの意味とマメに過ごせませうと願いを込めて多摩同胞会代々のレシピを受け継ぎ、弱火で時間をかけて丁寧に炊き上げます。栗きんとんは、黄金色に豊かな一年を過ごせるよう、きんとん作りにはくちなしの実を入れてきれいな黄色になるよう心がけます。そして、紅白なますは大根と人参を均一な千切りにするため、担当者の技量が試されます。このようにして心を込めて作られたおせち料理を美味しく召し上がるご利用者の姿が私たちの励みになります。今年もチームワークを大事に、地域の皆様のためにもお食事を作っていきたいと思えます。

食事係(栄養士) 進藤晶子

あさひ苑

元氣一番!もちつき大会

ノロウイルス、食中毒防止ということで世間では餅つき自体中止になる事が増えてきていますが、今年も一年を締めくくる行事として、12月14日と15日にあさひ苑デイサービスとホーム合同の餅つきを行いました。



蒸かした餅米を臼に入れ、杵で馴染ませてから「どっこいしょー!どっこいしょー!」とご利用者の皆さんで掛け声をかけながら、楽しい雰囲気でお餅をつきました。

「つきたてのお餅は柔らかくて美味しい。」「やっぱりこれをやらないと気分がねー。」との声が沢山あり、いよいよお正月もすぐそこという気分です。その場にいた人みんなが笑顔になり、大変喜ばれていました。なによりも無事に年末の行事を行えたことで、新年に向けて気持ちを新たにすることが出来ました。

ホーム2階介護職員(介護福祉士) 窪田 健

うらら多磨

新年もうららかに

平成23年12月1日に、府中市の東北のはずれ都立野川公園の近くに「府中市高齢者住宅うらら多磨」という小さなサービス付き高齢者向け住宅が完成し、府中市民のための交流スペース「ルームこもれび」も設置いたしました。後に、訪問介護事業所「うらら多磨ホームヘルプサービス」も併設し、府中市にとっても小さな幸福をもたらす憩いの場所が完成したのです。



多摩同胞会が目指す、「最も困っている方への支援」を実施するため、一人一人、一つ一つの願い事がかたうように、これからも一歩一歩進んでいくと思えます。皆様、公園散策のついでに一度お寄りください。

あさひ苑地域包括支援センター長(精神保健福祉士) 清野哲男



連雀

初夢は
どんな夢?

年末にホームのご利用者と昨日見た夢の話をしていた際に、初夢は覚えているかという話になりました。

皆様口をそろえて「初夢なんて覚えてないわねえ」との事。



初夢に縁起が良い物が出てくるとその年は良い年になるといわれているという話をする

と、とAさんは「縁起のいい物が出てくるのもいいけど、私はもっと夢、がある素敵な夢がみたいわ」ときらきらした表情でお話してください、Bさんは「よく食べ物食べる夢をみるんだけど、いつつも食べる直前で目が覚めちゃうの。どうせ見るならちゃんと思える」とこれまでみられる初夢が「いわ」と照れ笑いしながらお話しされ、いつの間にか皆様の希望する初夢はなにかというお話になりました。

2018年の初夢は皆様が思い描いた夢が見られたのでしょうか。お正月のひと時にお話しをうかがいながら素敵な1年をホームの皆様と一緒に過ごしていきたいと思えます。

特養介護職員(介護福祉士) 永田 美穂

きずな

心機一転

きずなは今、改築工事の真っ最中です。12月中旬には新棟(第一期工事)も完成し、1月には利用者の居室も事務所も引越しくなりま

す。事務所協のこたつのある和室は病児保育の子供達と一緒に過ごしたり、お母さん達とお茶を飲みながら、子供達の様子などを雑談したり、そのひとときがとても大切な時間でした。退所した利用者も遊びに来た際にはその思い出を語ってくれます。

新棟完成後は、今まで以上に居室が広くなり、快適に過ごしていただけるようになっていきます。新たな建物でも楽しくたくさんのお話しが作れるよう、建物同様、心機一転、新たな気持ちで過ごしていかうと思えます。



母子支援員

(社会福祉士)

白井 厚子

岩本町

今年は
犬が活躍!?

新しい年の「戌年」にちなんで、「犬」の種類をあげてもらいました。

「柴犬、秋田犬、チワワ、まだいるわよ」

「足が短かくてかわいい犬なんだっけ、なんとかつ Lindo、似てる名前だけどなにかが違」

しばらく考えて「ダックスフンドだよ」

「そうそう、確かに足が短いわよね」と名前が出た所で皆大笑い、まさに「笑う門には福来たる」です。今、空前のペットブームと言われています。生活に潤いと癒しを与えてくれるペットたちの一方で、飼い主も高齢、ペットも高齢となり、ある意味老々介護?となってきたと聞きます。人もペットも共生でき、いつまでもお互い豊かに生活できればと思います。



今年一年すべての生きものたちが、しあわせな年になりますように願いをこめて。

管理・予防
(介護福祉士)
赤羽根 進

たっち

節目を実感する
年明け
くもうすぐ一年生

新しい年がやってきました。大人にとつての節目といえば新年になるかもしれませんが、子どもたちにとつての節目は進級・進学のタイミングでしょうか。

たっちのリフレッシュ保育は満1歳から未就学のお子さんが対象ですが、幼稚園に入園すると利用の機会が減ることになります。日曜日や夏休み・冬休みなどの久しぶりの利用で、その成長に驚かせてもらうことは、私たち保育士の楽しみの一つでもあります。



1歳の頃からリフレッシュ保育を利用しているRくんは、今年の4月には小学校1年生になります。心身ともに本当に大きくなりました。「○○さん、一緒に遊ぼうよ!!」と、保育士を名前で呼んでくれるRくん、保育室で一緒に遊ぶことができますのはあとわずかです。

新年を迎えると共に、4月までの残りわずかな期間を思うと、「嬉しさ反面、寂しさも感じてしまう節目の時です。」

センター長(保育士) 畑山 恭子

かかやき

一富士二鷹
三茄子

初夢に見ると縁起が良いものとして「一富士二鷹三茄子」と言われています。その意味は、富士は「無事」、末広がり、鷹は「高い、運気上昇」、茄子は「事を」成す」と言葉を掛けているなど諸説あります。

さて、かがやきプラザは2017年11月に開設2年を迎え、私たち相談センターは24時間365日対応の高齢者相談窓口としての役割を担っています。今年度は高齢者活動センターで気軽に相談できる窓口として「もくもく窓口」、地域に向いの認知症相談会、生活支援コーディネーターを中心に地域の方々と一緒に地域の課題を話し合う「ささえ愛まち会議」が行われました。

「一富士二鷹三茄子」に限らず、「無事」に安心して地域の方々が素敵な初夢を見て笑顔で暮らせるよう、私たちは「高い」志をもって、地域づくりのお手伝いを「成す」ことができるよう日々邁進していきたくと思えます。



相談員
(社会福祉士)
松浦秀和

事務局

今も昔も
私たちは家族を
支援します

多摩同窓会では、各施設がサービス提供業務にできるだけ専念できるように管理部門の法人一本化を図り、事務局に集約する体制を平成17年度からスタートしました。現在、事務局本部には6名の職員を配置し、各施設にはそれぞれ1~2名の事務局職員と準職員を配置しています。

事務局体制は、今年で14年目を迎えますが、現在は管理・財務・労務・庶務(広報、研修等)、集約業務(経理、請求、庶務)と業務を整理して、各施設と連携しています。

法人の理念を実現するため、事務局職員としての役割は何かと考えると、職員が安心して働けるための「縁の下力持ち」であることだと思います。そのために、私たちに財務管理や労務人事などの専門性を高めることが求められています。

私たち事務局職員は、最も困っている人々のいちと生活を支えるため、これからも務めてまいります。



事務局本部統括係長(介護福祉士) 堀内 賢治

ニュース

武蔵台学園との交流会

11月2日、泉苑では、府中市武蔵台にある東京都立武蔵台学園高等部の皆さんと泉苑デイサービスご利用者との交流会が行われました。交流会は初めての試みでしたが、ご利用者の方々にとっては、お孫さんのような子供たちとのふれあいに笑顔の花が咲きました。交流会では、「ポッチャ」というパラリンピックでも正式種目になっている競技をゲーム感覚で一緒に楽しみました。高等部の皆さんはデイのご利用者のパワフルな投球に驚いている場面もありました。とても温かな時間を過ごすことができました。

(泉苑 今福崇)



ポッチャで盛り上がりました



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

浅川潤一 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 大沢良三 健康麻雀の集い無垢の会 国際ソロプチミストあきる野 国際ソロプチミスト東京府中 新日本フィルハーモニー交響楽団 セカンドハーベスト・ジャパン 東京都食肉生 活衛生同業組合 東京都人材支援事業団 有限会社庭商店 長谷川節子 (2017年9月~2017年11月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

青木晃子 青野まり 赤田美恵子 赤林好子 浅見スジ子 網代恵美 荒井迪子 荒波 智子 有本陽子 飯田と志子 飯塚喜美子 囲碁を楽しむ会 石井 久子 石井宏 石坂勝生 石坂トメヨ 伊集院撰津子 磯野輝夫 市川アイ子 市川知子 井出睦子 井上 智美 今喜 琴トシ子 今橋博子 ヲクレレ 上北睦子 上野時子 植松八千代 魚川桂子 ヲクレレ 内保三重子 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 ト部和子 上床晃代 江畑順子 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大川久美子 大倉弘子 大島庸子 大城ひろ子 太田久美子 大野文子 大原捷子 大瀬浩平 岡田愛子 岡田テイチ 岡田基子 小川健治 荻野和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 オコサの会 尾崎節子 尾崎絃之 尾崎靖宣 押立琴の会 音楽園 おはなし夢くらぶ Ohana Hul a Team 小柳亜樹子 折田浩一 カレット 海江田紀久子 鹿島キチ 鹿島千重子 鮎野美千代 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤栄子 加藤静 加藤規子 加藤美美子 加藤洋子 金指 真美 金澤 静江 金子 武仁 上沢美和子 上村修 神山しげ子 亀岡紀知信 川崎雅人 川住弥生 川村智子 菊地裕子 きずなの手・江戸川 ギター演奏による歌の会 北島美恵子 木谷教子 北村 よしこ 木村加代子 木村仁美 木森哲 草野美鈴 具嶋郁子 國定 毅 久保田摩耶子 久保紀子 隈元美恵 蔵内睦子 栗原宏子 黒川澄子 黒川トヨ子 桑原 侑子 弦間まさ 小石曉子 小泉美世子 小出辰一 小出由美子 小岩井雅人 河内ともみ 石澤圭子 国府よさこい 小久保桂子 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林忠雄 小林照子 小林久恵 小林真弓 小林道子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 是永美代子 今野幸子 ザ・ポディーショップ 西郷美絵 齋藤健三朗 齋藤孝子 齋藤千枝子 齋藤則子 酒井和子 坂本越子 佐久間桂子 佐々木英子 佐治美枝子 佐藤イソ 佐藤公子 佐藤妙子 佐藤千鶴子 佐藤ななか子 佐藤初江 佐藤秀和 佐藤正江 佐藤ミドリ 佐藤雄也 佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 重田文子 品田啓子 島津たか子 嶋田樹利 島田たず 清水文枝 清水光子 下江美鈴 下宏子 秀麗会 進藤サエ子 進藤登美子 新村信子 スイungkキッズ

杉本節子 杉本真理子 杉山恵子 鈴木アキ子 鈴木暉子 鈴木瞳 鈴木好枝 鈴木好子 スターバックスコヒー すみれ会 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 高橋恭子 高橋チヨ子 竹内砂恵子 竹内由美子 竹松ふく 田島みよ 田中久美子 谷野みよ子 田部美智子 玉木由美子 多摩スマイル吹奏楽団 田村 知江子 丹野由紀子 千葉よし ちよだ絵本の会 土屋とき枝 堤明 椿原量子 寺町律子 童謡唱歌の会 戸島正子 栃谷さき 富田 秀子 豊田悟史 とんとんぱつ 内藤美枝子 中井啓子 中垣春代 長島広美 中野渡とみ子 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村恭俊 山伊久子 中山寿美 二胡とゆかいな仲間たち 濁川直之 西野 侑子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 野坂豆代 能登すみ子 橋場昭 長谷川津津子 performance worlds 石多大地 早矢 仕房男 原田園彦 原田康子 原 俊江 原悠輝人 樋口淳子 樋口よし子 肥後住江 久島なる子 日高千敦子 平泉順子 平岡美津子 平澤みどり 平松ふじ子 広木さく江 深澤真紀 深堀紀美子 福田佐代子 福田トミエ 藤井爽介 藤田京子 府中囃子保存会下染屋支部 府中市吟遊連盟 船岡栄子 舟見三佐子 フラダンス同好会 プリモ・ピアット 古園絢子 ふれあいクラブ浅間 保坂良子 星野若佐 細木南美 堀田武三郎 堀江深雪 孫田一昭 政所優季 町田知行 松沢信子 松下明 松下健 松田恵子 松野アイ 松実宏枝 松本幸次 馬部正子 丸田のぶ子 三上英一 三坂和子 ミスターマック 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 明神淑恵 村井福子 村岡栄美子 村田博子 明治安田生命 本野幸子 紅葉丘老人会若葉会 百瀬洋子 守屋貴美子 森脇敦子 八重の会 矢崎英子 山崎キヌ子 山田一九 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山野栄治 山本恵美子 山本峯子 山森貞枝 鐘溝千寿子 ゆうかファミリー ユーロクリア・バンク 横尾美知子 よさこい白糸台緑風会 吉岡 秋夫 吉竹佐紀 吉田恒雄 吉田陸子 吉本栄子 米山秀子 るりまつりの会 朗読赤十字奉仕団 脇山令子 渡辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡邊恵子 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房一 渡辺守 (2017年9月~2017年11月)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで!

● 泉苑
☎0120-6540-24
老後支援 24時間

● あさひ苑
☎0120-2942-24
福祉につこり 24時間

編集後記

お餅が好きすぎてモチズキと呼ばれていました。柔らかなのにコシが強い美味しいお餅のよさを目標に目指します。

(しらとり 山中佳佳)

今年が厄年。健康第一で、怪我なく元気に過ごすことを目標に乗り切りたいと思います!

(たっち 星野幸子)

日々歩いて通勤しているのに、増えるばかりの体重。新年はウオーキングに磨きをかけます。

(きずな 白井厚子)

新年度の新たな目標として電車通勤内はスマホより本を手にとって読書に励みたいと思います。

(あさひ苑 YM)

昨年取得できなかった資格を取ることを目標に頑張ります。

(あさひ苑 西毅)

新年もやるべきことをひとつひとつ着実に取り組んでいきます。(事務局 青木志乃)

キャリアカウンセリングを学ばせていただきました。今年も朝のお弁当作りを継続して行い、早起きが習慣化できればと思います。(かんだ連雀 栗沢尚広)

今年も朝のお弁当作りを継続して行い、早起きが習慣化できればと思います。

(岩本 村上壽則)

昨年とは体調を崩すことが多かっただけで今年も健康な身体づくりに目指します。

(緑苑 齋藤純子)

今年目標は本屋(ネットではなく)で5冊以上の本を買い、読書生活を復活させることです。

(泉苑 岩淵研哉)

お餅が好きすぎてモチズキと呼ばれていました。柔らかなのにコシが強い美味しいお餅のよさを目標に目指します。

(しらとり 山中佳佳)

今年目標は本屋(ネットではなく)で5冊以上の本を買い、読書生活を復活させることです。

(泉苑 岩淵研哉)

